

第9回フードドライブにご協力ありがとうございました！

1月13日(火)～2月27日(金)の期間で行われた第9回フードドライブが無事終了しました。ご寄贈いただいた食品は、合計**約3トン**となりました。

前年同時期(約1.7トン)と比べても大幅な増加となっています。ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。なお、次回以降のフードドライブの日程は以下の通りです。各団体におかれましては、ぜひフードドライブを年間計画に位置付けていただけますよう、ご検討のほどよろしくお願いいたします。



次回第10回フードドライブ **2015年5月18日(月)～6月30日(火)**

第11回フードドライブ **2015年9月14日(月)～10月30日(金)**

第12回フードドライブ **2016年1月12日(火)～2月29日(月)**

余ってませんか。もったいない食品大募集中!!

【ご家庭から】

家庭で余っている食品(保存可能な物)を募集しています。

寄付いただきたい食品

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 穀類(お米、麺類、小麦等) | <input type="checkbox"/> 保存食品(缶詰、瓶詰等) |
| <input type="checkbox"/> 乾物(のり・豆など) | <input type="checkbox"/> インスタント食品・レトルト食品 |
| <input type="checkbox"/> 調味料各種、食用油 | <input type="checkbox"/> ギフトパック(お歳暮・お中元等) |
| <input type="checkbox"/> 飲料(ジュース・コーヒー・お茶等) | |



個人支援に利用させていただいている食品の一例

【企業等から】

包材の破損や賞味期限間近などにより、廃棄する予定の食品(賞味期限1カ月以上)などがございましたら、ぜひご寄贈ください。条件等は別途ご相談させていただきます。

ご寄付のお願い

フードバンクちばでは、みなさまのご寄付や協賛金を受け付けております。活動をご理解いただき、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

● 郵便振替口座

口座名義：**フードバンクちば** 口座番号：**00150-2-652117**

● ゆうちょ以外からの振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 種別：当座 支店名：〇一丸店 口座番号：0652117 口座名義：フードバンクちば

お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-375-6804** 平日 10:00～17:00 ☎ **043-242-8900**

※スタッフ不在の場合は、留守番電話にお名前とご連絡先電話番号をお話しく下さい。折り返しこちらからご連絡いたします。

✉ fbchiba@jigyoudan.com

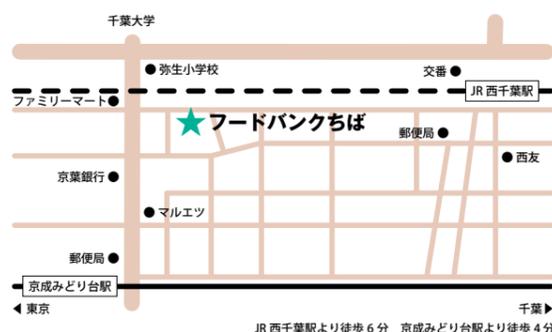
🌐 <http://foodbank-chiba.com>

ブログ：fbchiba.ko-me.com

フードバンクちば

ワーカースコープちば 企業組合労働協働事業団
サポートセンターオアシス内

〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101



JR西千葉駅より徒歩6分 京成みどり台駅より徒歩4分

フードバンクちば通信

フードバンクちば(企業組合労働協働事業団:サポートセンター「オアシス」内)〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101

支援の依頼が急増しています。

フードドライブにご協力ありがとうございました！
おかげさまで約3トンの食品が集めることができました。
倉庫では毎日ボランティアさんがたくさんの食品を仕分け、箱詰めにして困っている方々に発送しています。
そういったご協力の上に「フードバンクちば」は成り立っています。

赤い羽根共同募金 ありがとうメッセージ掲載写真

Vol. 11

2015年
4月20日発行

CONTENTS

- 1 フードバンクちばの個人支援の申請が激増しています。
- 2 フードバンクちばの支援状況をお知らせします。
- 3 平成26年度にいただいた助成金をご紹介します。
- 4 平成27年4月から新たに生活困窮者自立支援制度が創設されました。
- 5 いろいろなメディアでフードバンクちばが紹介されました。
- 6 企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。

現在までの支援状況

2014年4月～2015年3月までに提供した食品

<団体> 約9.8トン

<個人> 約9.2トン

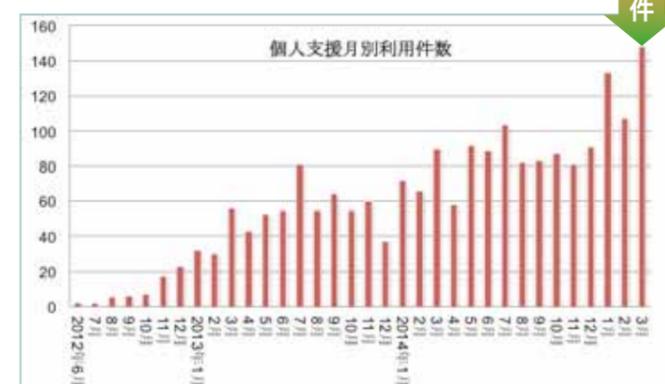
内訳:お米・調味料・パスタ・
そうめん・ツナ缶・ジャム・
菓子・飲料など

フードバンクちばの個人支援の申請が激増しています。

年明け1月に個人支援件数が130件を超え、2月も107件、3月は148件と支援の申請が激増しています。

フードバンクちばの個人支援は、千葉県内の福祉関連機関を通じてフードバンクちばへ申請をいただき、対象者の生活状況や家族構成等を把握した上で、食品の提供を行っています。寄贈いただいた食品を必要な内容・分量で梱包し、宅配便を使って支援機関へあるいは直接本人宅へ翌日には届くよう手配しています。最近では1日当たり10件以上の食品を発送しているため、ボランティアさんの協力が欠かせません。また、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、4月1日付けで県内全市で生活困窮者の相談窓口が開設されました。生活に困窮する人への緊急一次支援として、フードバンクは大きく期待されています。今後ますます利用が広がることが予想され、持続可能な仕組みづくりが求められています。フードバンクは、企業や個人からの食品提供が基盤であるため、必要なものを必要な時に必要な量入手することはできません。またその時に在庫のあるもので対応しているため、

内容はその都度異なります。あくまで民間のボランティアベースの活動ですので、常にご要望にお応えできる質・量の食品を準備できるわけではありませんが、皆様のご協力を得て、できる限りの対応をしていきたいと考えています。



フードバンクちばの支援状況をお知らせします。

最近の特徴としては、他の公的支援が難しくフードバンクの利用が複数回、長期化するケースがでてきていること、個人宅への直接配送だけでなく、相談支援窓口へお送りして支援者からお渡しするケースなどが増えてきています。フードバンクちばでは、現在 22 市町の社会福祉協議会、同じく約 20 市町の社会福祉関連部署、その他、中核地域生活支援センター、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、福祉施設等、全部で 100 ヶ所ほどの相談・支援窓口と連携して、食べるものに困った方々への食品支援を行っています。

 <p>60代男性</p>	<p>中核地域生活支援センターより（2月） 誰も住んでいなかった元神社で敷地内の除草作業を条件に月数万円の収入を得ながら数年間暮らしていたが、体調を崩し、仕事ができなくなった。食料も底をつき、キャットフードを食べて生活していた。</p>	 <p>70代男性</p>	<p>社会福祉協議会より（1月） 年金生活を送っているが、アパートの更新料を支払ったため、一時的に困窮。社協貸付制度を利用するが返済可能額に押さえるため、フードバンクを利用する。</p>
 <p>40代父親 10代娘 70代両親</p>	<p>市役所より（2月） 警察より市役所へ。10年程前に離婚、父子家庭となる。自営業であったが交通事故で負傷。現在は同居の両親の年金と事故の保険金で暮らしているが、1日1食夕食のみの生活が続いている。</p>	 <p>50代男性</p>	<p>社会福祉協議会より（3月） 父親の年金で生活していたが、1ヶ月前に世界。父親の介護のため定職を得られず、現在も求職中。収入なく、食べる物もない。電気・ガスも止まってしまった。</p>
 <p>80代女性</p>	<p>社会福祉協議会より（4月） 地域包括支援センター利用者。手持ち金がなく通帳も紛失。認知症のため通帳の再発行に成年後見制度を申請。手続きの間、地域包括支援センターの担当者を通して食品を届ける予定。</p>	 <p>40代母親 20代息子 10代娘</p>	<p>市役所より（3月） 半年以上前に父親が失踪。20代の長男・次男は精神的な病気のため無職。母親は働いているが生活が立ち行かなくなっている。まもなく長女が就労する予定なのでそれまでの支援を申請。</p>

平成 26 年度にいただいた助成金をご紹介します。

「パルシステム千葉 NPO 助成基金」（約 30 万円）をはじめ、「千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成金」（10 万円）、「コープみらい くらしと地域づくり助成」（10 万円）、「赤い羽根共同募金使途選択助成」（30 万円）をいただきました。ありがとうございました。フードバンクの周知活動や備品購入のために使わせていただきます。

平成 27 年 4 月から新たに生活困窮者自立支援制度が創設されました。

生活困窮者自立支援法の施行にともなって創設されたこの制度は、既存の制度では十分に対応できなかった生活保護にいたる前段階の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施することで、「自立の促進」を図ることを目的としています。お住まいの市（町村にお住まいの方は最寄りの県健康福祉センター）が窓口を設置し、生活や仕事に心配・不安・悩みを抱えている方に対し、地域において自立した生活が行えるよう、相談支援員が無料で相談に応じ、問題解決に向けたお手伝いをします。フードバンクちばの母団体であるワーカーズコープちば（企業組合労働船橋事業団）では、千葉市と習志野市の相談窓口を担当します。一人ひとりの状況に応じた支援を行い、お困りの状況の解決に向けてサポートしていきます。緊急的な困窮状態からの支援策の1つとしてフードバンクちばもできる限り協力していきたいと思っています。

「暮らし」や「仕事」でお困りの方は、まず相談を。相談無料

生活自立・仕事相談センター稲毛

千葉県稲毛区穴川4-12-4 稲毛保健福祉センター1階

電話 043-207-7070
FAX 043-207-7072
メール soudan@jigyoudan.com

「暮らし」や「仕事」でお困りの方は、まず相談を。相談無料

5いあぶ習志野

習志野市津田沼5-12-12 サウンド津田ビル6階

電話 047-453-2090
FAX 047-406-5555
メール lifeup@jigyoudan.com
http://jigyoudan.com/lifeup/

いろいろなメディアでフードバンクちばが紹介されました。

1月28日付の産経新聞千葉版にフードバンクちばの紹介記事が掲載されました。

「自宅に眠る食料を生活困窮者へ フードバンクちば、昨年 17 トン超支援」
家庭で余った食料の寄付を募り、生活に困っている人たちに無償で配給する「フードバンク」と呼ばれる活動が、県内でも広がりを見せている。活動に取り組む団体「フードバンクちば」（千葉市稲毛区、菊地謙代表）によると、昨年 4～11 月に同団体が生活困窮世帯に提供したコメや調味料といった食品は約 17.1 トンに上る。一方で支援の要請も増加しているといい、同団体は県民に協力を呼びかけている。

● TBS ラジオ 2月28日（土）午前 8 時 20 分ごろから堀尾正明＋PLUS の「人権 TODAY」というコーナーで、フードバンクちばが取り上げられました。代表の菊地がインタビューに答える形で、5分ほどの放送でした。

● 読売新聞千葉版 3月13日（金）付「十字路」欄で、フードバンクちば代表・菊地が紹介されました。



第 47 回習志野市消費生活展に参加しました。

2月21日（土）、22日（日）とイオンモール津田沼 1 階特設会場で行われた「第 47 回習志野市消費生活展 目利きになろう 未来へつなぐ豊かなくらし」にフードバンクちばとして初めて参加しました。会場が新津田沼駅近くのイオンのフードコート前の広場で、多くの人が行きかう中、「フードバンク QUIZ」などを行って、食品ロスの削減と困窮者支援についてアピールする機会となりました。主催者の皆さま、ありがとうございました。



企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。大切にに使わせていただきます。

茨城県神栖市波崎の「越田商店」様からサバの文化干しを 1～2 ヶ月単位で定期的にいただくことになり、養護施設などで大変喜ばれています。ヤマサ醤油(株)様からも 2、3 月とお醤油をはじめたくさんの調味料類、浅草今半(株式会社今半)様より、昨年に引き続きご贈答用の牛しぐれ煮等(17 箱)、鎌ヶ谷市の新京成電鉄(株)様より災害備蓄品(アルファ米：900 食分、パンの缶詰：24 個入 40 箱、あんこ餅 900 食分)、船橋市の三和商事株式会社様より災害備蓄品(緊急サバイバルセット：12 セット入 70 箱)、関東天然瓦斯開発株式会社様より災害備蓄品(1 日セット：6 セット入 44 箱)、丸善石油化学株式会社様より災害備蓄品(乾パン：200 缶、アルファ米：150 食分、カロリーメイト：60 食分 20 箱)、袖ヶ浦市役所より防災備蓄品(缶ミルク：18 缶、サバイバルフーズ：6 缶入 8 箱)、株式会社ライフランド様より災害備蓄品(パンの缶詰：24 個入 48 箱)をいただきました。



施設名	住所
子どもセンター帆希	千葉市
千葉みらい響の杜学園	千葉市中央区
ほうゆう・キッズホーム	千葉市花見川区
房総双葉学園	千葉市稲毛区
旭ヶ丘母子ホーム	千葉市若葉区
子どもセンター帆希	千葉市中央区
晴香園	松戸市根木内
恩籠園	船橋市薬園台
はぐくみの杜君津	君津市鎌田
聖愛乳児園	いすみ市岬町

● 提供先養護施設・母子支援施設



養護施設での受取りの様子